

町田通勤寮だより

NO 69
2018年 5月

社会福祉法人つるかわ学園 町田通勤寮

〒194-0045 東京都町田市南成瀬1-5-3

電話 042 (739) 0491

巻頭言

寮長 三階 広明

新年度が始まり、新規利用者の入寮も一段落をしましたが、2年の利用期間の終了を間近に控えた利用者の地域移行準備もあり、なんとなく忙しい気持ちです。

4月8日には新年度最初の行事として「オリエンテーション&バーベキュー」が行われました。通勤寮で過ごすことの目的などを改めて利用者の方に伝え、それぞれの目標を確認してもらおうことと、新しい利用者の方を含めた懇親の場として位置付けを取り組みです。

さて、例年4月の初旬には関東地区宿泊型自立訓練事業等協議会の寮長会議(総会)が開催され、前年度の報告と新年度の事業計画等が話し合われます。

今年は、この4月からの制度改正(報酬改定及び事業の見直し)についての

議論が中心となりました。残念なことです。知的障害者の通勤寮は年々その数が減少しており、社会的ニーズが高い割には中々事業運営が厳しく、事業の転換を図る法人のあることが毎年報告されます。

私が寮長になって4年が経ちます。改めて自分の仕事を振り返り、着実な歩みを進めていきたいと思えます。

職員一同、努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

オリエンテーション・BBQ 4月8日(日)

主任支援員 武智 里峰

4月8日(日)オリエンテーションが開催されました。

『新年度を迎え、各利用者が通勤寮において目標や課題をイメージできるように、今年度のプログラムを利用者に伝えると共に、相互の意見交換の場とする。』を目的として、利用者全員参加しました。

内容は

- ① 職員挨拶
- ② 利用者担当
- ③ 通勤寮の生活の流れ
- ④ 栄勝の決まり(ルール)
- ⑤ 金銭支援について
- ⑥ 個別支援プログラム
- ⑦ 一年間の行事・講座
- ⑧ 食堂・食事について(調理職員より)
- ⑨ 地域生活について
- ⑩ 自治会より

全ての内容が通勤寮を退寮するまでに、とても重要な内容であることをか

なり認識しているのか、利用者の聞く姿勢は、例年になく真剣に聞いていました。

一人一人が、目標を持ち、通勤寮で生活することの意味を理解することで、自分達の明るい将来に繋がる事を、職員一同願っています。

また、このオリエンテーションをきっかけに、寮内での仲間づくり等、楽しく生活することができることも大事な一つですので、楽しさとやる時はやる、メリハリのある生活を送り、今後の皆さんの成長を見届けていきたいと思っております。

支援員 新井 政暁

新しい年度を迎える4月は学校や会社をはじめ、様々な場所で新生活がスタートします。町田通勤寮も同様で、この時期、毎年たくさんの新規利用者が入寮されます。入学式や入社式、新生活に関係する行事は色々あります。町田通勤寮では毎年4月にオリエンテーションとバーベキューが開催され、今年も4月8日に開催されました。

率先して火おこしを手伝ってくださる方、調理を手伝ってくれる方、緊張がなかなか皆の輪に入れない方、様々な利用者さんの姿が今年も見られました。

多感な時期で慣れないことも色々あり、新生活というのは誰もが苦勞することだと思えますが、寮長はじめ支援員、事務、調理、警備と、職員一同で一杯サポートしていきます。皆が安心して通勤寮で生活を送り、それぞれの目標や夢に向かって成長した姿で町田通勤寮を巣立って行く日を楽しみにしております。



生活・教養講座

4月23日(月)

支援員 入江 就仁

4月23日町田通勤寮食堂にて第1回目生活・教養講座が開催されました。今年度も町田市役所環境資源部3R推進課の方を講師に招き、ゴミの分別や収集についてお話をいただきました。今年入寮した利用者さんも町田市での生活が初めての方も多いい中で、それぞれ自治体について分別方法が異なること、燃えるゴミ・燃えないゴミの袋が異なることなど基礎知識から豆知識まで分かりやすい説明をいただきました。

今年度の利用者さんほととも積極的にメモを取ったり、質問をするなど良い雰囲気の中で行われ、1年後・2年後に卒業して地域生活を送る上でも重要な知識であることを再認識されているように思えました。今後、マナーを守る・ルールを守ることは非常に大切なことなので、初心を忘れべからず。頑張っていたきたいと思います。

クリーンデー 5月6日(日)

支援員 浅田 恵理子

5月6日(日)事前に予告をしていた通り9時に食堂に集合し、男女に分かれて自治会のメンバーが取り仕切る中で、掃除分担を決定。

時間がかかる場所は人を多めに配置し、簡単な場所は終わり次第応援に入るなど協力し合って、1時間半ほどで全共用スペースの掃除は完了。

どうなるかと心配しましたが、驚くほど協力的で、掃除を通してよいチームワークが見られ、良い機会になったと感じました。

今度はたわし、古い歯ブラシ、大きめのメラミンスポンジ、食堂用の箒がほしいなど、次回に向けても要望があり、やる気が感じられました。

この調子で毎月クリーンデーを実施し、皆が気持ちよく過ごせるようになっていきたいと思っています。

単身生活移行へ

支援員 西岡 理智子

1月から4月の間に、女性1名、男性4名、計5名が単身生活へ移行されました。町田市2名、八王子市、多摩市、杉並区それぞれ1名となっています。5名のうち、4名の方は、不動産屋に1〜2回来店して物件を決め、1〜2つの物件で入居決定しました。

私は、杉並区へ単身移行したSさんの担当で、一緒に物件探しをしました。Sさんにとっても、通勤寮1年目の私にとっても、初めての物件探しでした。

Sさんだけは物件探しにとっても難航し、開始からちょうど2カ月かかってようやく入居となりました。

Sさんの物件探しが難航した理由の一番は、希望していた地域にあったと思います。最初、中野を希望されましたが、予算内では風呂なし物件や極小物件しかなく、中野を中心に少しずつ範囲を広げ、HPで物件探しをしました。引越越しゾーンと重なってしまったため、問い合わせをしても募集終了していたり、なかなか内覧に行く物件が決まりませんでした。

また、通勤寮を利用していることや保証人を立てられないというこちらの事情に、心ない対応をされることもありました。不動産屋との連絡が途絶えてしまい、最初の1ヶ月は思うように進められませんでした。

3月になって、何件目かの不動産屋に問い合わせると、「そのような事情があっても、どこでも良いと思わなくていいですよ。納得いくまで探しましょう」と言っていただけ、その方にお願いくることになりました。Sさんも物件の希望を伝えたり、自分からいろいろ話をして担当者の方と打ち解け、ようやく物件探しが軌道に乗りました。

担当者の方はとても親身になってくださり、何件もの物件に問い合わせ、とても良くしていただきました。しかし、Sさんが希望する地域では保証会社利用のみでOKな物件の数が少なく、そのなかでSさんが気に入る物件はなかなか見つかりませんでした。保証人不要物件は、条件が良くなかったり、築年数が古いものや家賃が高めなものが多い印象を受けました。結果としてSさんも家賃予算を当初より5千円ほど上げることとなりました。

入居までに、5日間物件の内覧に出かけ、新宿区、杉並区、三鷹市など合計13の物件を見に行きました。5つの物件に申し込み、結果を1週間以上待たされたり、OKをいただいて喜んだあとに断られてしまうこともありました。申し込んだ物件のなかで、1つの物件のオーナーの方だけが通勤寮を利用していることにご理解くださり、オーナーの方との面談を経て、4月中旬、無事にSさんは引越越しをされました。

地域によって、もちろん家賃相場は違いますが、それだけではなく保証人必須物件が多いことや、入居希望者が多い地域だと断られてしまうという現実

を、Sさんの物件探しを通じて思い知らされました。

2か月もかかりましたが、その間にSさんは大きく成長され、Sさんを地域へ送り出しても大丈夫だという安心感をこちらも感じる事ができました。単身生活・GH、どちらの進路に進まれても、地域で安心して自立した生活を送っていただけるように、今後も支援させていただきたいと思えます。

調理実習 4月22日(日)

栄養士・調理員 遠藤 小百合

4月22日(日)に今年度最初の調理実習を行いました。

簡単でしつかりとおなかの満たされる「けんちん汁・鶏の照り焼き・小松菜のおひたし・コーヒーパンナコッタ」を献立とし、身支度・手洗いなど 準備の基本から、包丁の使い方や野菜の下ごしらえなどを一緒に学びました。

初めて調理する野菜や 作ったことのない料理に始めのうちは少し戸惑っていたようですが、少しずつ形になっていく料理を見ているうちにだんだんと目が輝いてきて、生き生きとした表情を見せてくれました。

出来上がった料理は初めて作ったとは思えないほどとても良い仕上がりで、教えていた私もとても嬉しく感じられました。参加されたみなさまお疲れさまでした。

調理実習は今年度、6月・8月・10月・12月・2月に実施する予定です。普段なかなか調理の出来ない方や自分のレパートリーを増やしたい方など、ぜひこの機会に一緒に楽しく学んでいきましょう。こんな料理を作りたいな…などのリクエストも受け付けております。みなさまのご参加、お待ちしております。



多摩南部就業支援連絡会 4月24日(火)

支援員 小林 美樹

平成30年度第1回多摩南部就業支援連絡会が先月4月24日に開催され出席して参りました。

この会は「ネットワークは、それ自体で社会資源になり得るを理念とし、多摩南部地域の障害者の就業促進を図ることを目的」としています。構成員は職業カウンセラー・ハローワーク職員・町田市役所障がい福祉課職員・支援学校進路担当教諭・障がい者雇用している企業の方など40名程の方たちがいらっしやいます。

今年度も年間を通して、施設見学・障害者雇用に関するディスカッション・学習会などが計画されております。ここで様々な事を吸収して通勤寮の利用者の皆さんへ還元していこうと考えております。

新任職員紹介

事務員 服部 千穂

4月1日付で町田通勤寮に採用されました事務員の服部と申します。

事務経験は長いものの、福祉業界での勤務は初めてです。早く業務に慣れ、お役に立てるよう努力したいと思います。何卒よろしくお願いいたします。

今後の主な予定

5月22日(火) オンブズマン活動日

5月25日(金) 就労講座

5月26～27日(土・日) 東京都障害者スポーツ大会

6月3日(日) クリーンデイ

6月23日(土) 生活講座 (GH見学)

6月28日(木) 保健講座

7月8日(日) 13…30 保護者会

◆町田通勤寮だよりのバックナンバーはつるかわ学園公式HPよりご覧になれます。

(<http://tsurugaku.sakura.ne.jp/wp01/jigyosho/tsukinryo/ryodayori/>)